

コロナが落ち着いても 地域との連携を強めよう

第25回耳原総合病院地域連携をすすめる会

耳原総合病院は、年に一度、地域の医療機関の先生方と意見交換ができる研修会を開催しています。今年はコロナ禍です。今年もコロナ禍です。今年もコロナ禍です。

「地域医療支援病院とがん診療拠点病院の取り組み」と題し、昨年度の実績を報告しました。断らない医療の実践として、救急外来は7000台近い救急搬送を受け入れ、入院では全身麻酔手術件数が過去最多と、コロナ禍でも通常診療を続けて

は、『COVID-19の診療からこれからの地域連携を考える』と題し、報告しました。2012年に地域医療支援病院の認可を受け、地域医療の推進のために開かれた病院としてトリアージ機能（医療機関の役割に応じて紹介する機能）を高めてきた経過や、COVID-19の発生状況と合わせた現時点での総括を行いました。治療内容は

「面会は、ご家族にとっても、患者さんにとっても、なくてはならないものだ」と思います。コロナ禍でも、安全に面会ができるように考えていきたいと思っています。

「面会は、ご家族にとっても、患者さんにとっても、なくてはならないものだ」と思います。コロナ禍でも、安全に面会ができるように考えていきたいと思っています。

冒頭、堺市医師会副会長の佐々木先生から、「COVID-19蔓延期に合わせ、病床の確保に加えて、病棟の確保に

リハビリ病棟です。退院後、安心して生活していただけるよう、リハビリの進捗状況をご家族に提供したり、退院が近づくとご自宅での生活をイメージできるように、試験外泊など行っていました。が、コロナ感染を院内で蔓延させないため、できなくなっています。

「面会は、ご家族にとっても、患者さんにとっても、なくてはならないものだ」と思います。コロナ禍でも、安全に面会ができるように考えていきたいと思っています。

「面会は、ご家族にとっても、患者さんにとっても、なくてはならないものだ」と思います。コロナ禍でも、安全に面会ができるように考えていきたいと思っています。

「面会は、ご家族にとっても、患者さんにとっても、なくてはならないものだ」と思います。コロナ禍でも、安全に面会ができるように考えていきたいと思っています。



◀ 河原林病院長 (左)
大矢副病院長 (右)

コロナ禍でも家族とのコミュニケーションを大切に

耳原総合病院10階病棟での取り組み

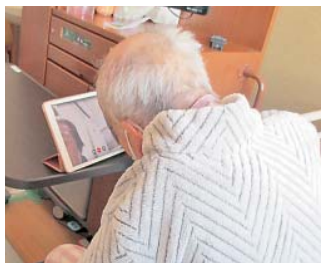
耳原総合病院10階病棟は、急性期の治療が終わった後、退院に向けて、入院中に落ちてしまった体力と低下した体の機能を回復するための回復期

は、『COVID-19の診療からこれからの地域連携を考える』と題し、報告しました。2012年に地域医療支援病院の認可を受け、地域医療の推進のために開かれた病院としてトリアージ機能（医療機関の役割に応じて紹介する機能）を高めてきた経過や、COVID-19の発生状況と合わせた現時点での総括を行いました。治療内容は

「面会は、ご家族にとっても、患者さんにとっても、なくてはならないものだ」と思います。コロナ禍でも、安全に面会ができるように考えていきたいと思っています。

「面会は、ご家族にとっても、患者さんにとっても、なくてはならないものだ」と思います。コロナ禍でも、安全に面会ができるように考えていきたいと思っています。

「面会は、ご家族にとっても、患者さんにとっても、なくてはならないものだ」と思います。コロナ禍でも、安全に面会ができるように考えていきたいと思っています。



タブレットで面会

大矢亮救急診療センター長（副病院長）から

報告されました。

地域連携室課長 松本 昌広

4つのステートメント(案) ⑤

戦争と人権

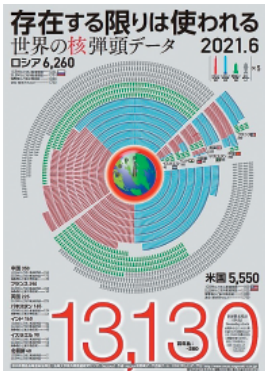
戦争は、最大の人権侵害

今年、戦後76年。15年にわたる侵略戦争は、2000万人以上のアジア諸国民と310万人以上の日本国民の命を奪いました。また武力侵攻だけでなく、日本の医師・医学者が、中国人などをつかって生体解剖・人体実験を繰り返しました。日本による侵略と植民地支配による深い傷跡は、今も残されています。

4つのステートメント(案)

- * 同仁会はジェンダー平等の社会を推進します
- * (仮称)性の多様性を認め合える組織へ
- * 互いを尊重しあい、ハラスメントが発生しない職場づくりをめざそう
- * 平和、地球環境、人権を守る運動を現場・地域から広めよう

核弾頭数2021



9の日宣伝

戦争の教訓から1947年に日本では、恒久平和を謳う日本国憲法が制定され、1948年には「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」で始まる「世界人権宣言」が生まれました。

同仁会 副理事長
土井 康文